

5 本時の指導

(1) 目標

・日常の場でも案内ができるよう、言葉や順序を考えて話す。

(2) 本時の指導

	4つの学習内容	○学習活動 ☆評価	7つの学ぶ力
つかむ	③モノ 学校周辺の地図を1学期より掲示し、家の場所や探検箇所を写真とともに貼り、地図の見方に触れる。	○前時を振り返り、道案内する際のポイントを思い出す。 めあて ことばやじゅんじょを考えて、学校の近くのみちあんないをしよう。	
考える	④楽しさ ・道案内を交互に行うことでゲーム性が生まれ、楽しんで上手な案内をしたいという思いをもつ。 ・実際の地域の地図を使って道案内を行う。	○学校から児童館までの道案内をする。 ・児童館は、烏山中学校の近くにあります。まず学校の正門を出て右に曲がります。次に、1つ目の信号を左に曲がります。少し進んで次の信号を右に曲がり、さらに少し歩くと、右側に児童館があります。 ○好きな目的地を選び、道案内の仕方を考え、二人組で道案内をする。 ☆相手に分かりやすいように言葉や話す順序を考えて、道案内をしている。 【思①】(観察・記述) ☆話す事柄の順序を粘り強く考え、道案内をしようとしている。【態①】(観察・記述)	①話す・聞く力 ・(話し手) 待ち合わせ場所までの曲がり角や目印など、相手に伝わりやすい順序を考えて話す。 ・(聞き手) 道案内の順序や曲がり角のポイントなどを落とさずに聞き取る。
まとめる		○学習の振り返りをし、まとめる。 難しかったことも含め、道案内をする際にはどんなことが大切だったのかを子どもたちの言葉でまとめる。	

第2学年 国語

ことばでみちあんない

2年1組 石田 祥子
2年2組 佐原 友成
2年3組 利重真由子

1 単元の目標

- (1) 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。〔知・技〕
- (2) 相手に伝わるように話す事柄の順序を考えることができる。〔思・判・表〕A(1)イ
- (3) 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞くことができる。〔思・判・表〕A(1)エ
- (4) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
〔学びに向かう力、人間性等〕

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	①「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように話す事柄の順序を考えている。 ②「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞いている。	①話す事柄の順序を粘り強く考え、学習課題に沿って道案内をしようとしている。

3 授業デザイン

対話の練習の位置付けである「ことばでみちあんない」の単元をより楽しく、より必然性のあるものにするため、以下の各教科等・領域の内容、4つの学習内容を組み合わせて授業をデザインし、7つの学ぶ力の中の「話す・聞く力」をより伸ばすための授業を考えた。

各教科等・領域	4つの学習内容	7つの学ぶ力
生活科 「まちがだいすきたんけんたい」では、学区内の公園やお店について調べた。学区内の簡易地図を教材として使用し、どこにどんなおすすめの場所やものがあるのかを発表し合った。 今後の「えがおのひみつたんけんたい」では駅周辺のお店や公共施設を学習する。その際に本単元の学習を生かしていきたいと考え、その場所を意図的に入れた地図を扱うことにした。	③モノ 学校周辺の地図を1学期より掲示し、家の場所や探検箇所を写真とともに貼り、地図の見方に触れる。 ④楽しさ 道案内を交互に行うことでゲーム性が生まれ、楽しんで上手な案内をしたいという思いをもつ。 また、実際の地域の地図を使うことでイメージを広げながら案内を楽しむ。	①話す・聞く力 ・朝の会で行う「日直スピーチ」での対話を通して大事なことを伝えたり聞いたりする経験の日常化。 ・前単元「ともだちをさがそう」で行った大事なことを落とさないように短い言葉でメモを取る力を活用する。 ・前年度から引き続き行っている経験を話す際の「あったことク」。どんなことを話すと内容が伝わるか順序を考えて話す力を活用する。

4 指導計画

	見通す	考える	まとめる・いかす
時数	1	2	3 本時
めあて	みちあんないのしかたを考えよう	ことばやじゅんじょを考えて、分かりやすいみちあんないを考えよう	ことばやじゅんじょを考えて、学校の近くのみちあんないをしよう
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の地図(公園の略地図)を使った道案内を聞き、分かりにくさ・分かりやすさを出し合う。 正しく道を伝えるためのポイントを整理する。 今後は実際に自分が道案内をするという学習の見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の地図(公園の略地図)を使い、二人組で交互に道案内をする。 待ち合わせ場所が分かったか確かめ、より分かりやすい道案内を考える。 同じ地図を使い、三人組で道案内をし合い、よりよい道案内を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校から児童館までの道案内をする。(学校周辺地図の見方、方向、マークの確認) 地図上の好きな目的地を選び、道案内の仕方を考え、三人組で道案内をする。 目的地を地図上で確かめ、分かりやすい道案内だったか振り返る。
学習内容(児童のゴールの姿)	<p>言葉で道案内をするという学習の見通しをもち、分かりやすい説明の仕方を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>分かりやすいせつめい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○はじめに、あんないするばしょを言う。 ○通る道のじゅんばんにせつめいする。 ○目じるしをはっきりつたえる。 ○「～つ目の角」「～回まがる」のように、数をつかう。 </div>	<p>分かりやすい道案内ができるよう、言葉や順序を考えて話す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>分かりやすいせつめい(つけたし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○同じものがある場合は、「～の近くの」と言う。 ○右、左などの方向をはっきりつたえる。 ○大事なポイントになる曲がり角は、ゆっくりと言う。 </div>	<p>学校周辺の地図を使っても案内ができるよう言葉や順序を考えて話す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道を通る順番を考えて説明できた。 ○実際は、曲がり角がたくさんあるので、言葉を考えるのが難しかった。「次の」とか「～つ目の」と言う伝わった。 </div>
評価	知・技①	思・判・表①、②	思・判・表① 態度①
各教科等・領域	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【生活】「まちが大すきたんけんたい」地域の魅力的な場所などについて関心を広げ、もっと見たい知りたいという意欲をもつ。</p> </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【生活】「えがおのひみつたんけんたい」おすすめの場所について、学校からの行き方の案内を含めて紹介する。紹介をもとにたんけんする。</p> </div>
4つの学習内容		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【④楽しさ】 道案内を交互に行うことでゲーム性が生まれ、楽しんで上手な案内をしたいという思いをもつことができる。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【④楽しさ】 実際の地域の地図を使って道案内を行う。</p> </div>
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【③モノ】 学校周辺の地図を1学期より掲示し、家の場所や探検箇所を写真とともに貼り、地図の見方に触れる。</p> </div>
7つの学ぶ力		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【①話す・聞く力】 (話し手) 待ち合わせ場所までの曲がり角や目印など、相手に伝わりやすい順序を考えて話す。</p> </div>	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【①話す・聞く力】 (聞き手) 道案内の順序や曲がり角のポイントなどを落とさずに聞き取る。</p> </div>	
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【①話す・聞く力】 (常時活動) 日直スピーチ「あったこトーク&質問」</p> </div>